

平成25年度事業報告

1. 総会及び理事会等会議の開催

種 別	期 日	会 場	出席者数	協 議 事 項 等
監 事 会	25. 4. 23	ハム・ソーセージ 会 館	監事 5名	平成24年度収支決算等に関する事項
理 事 会	25. 4. 23	ハム・ソーセージ 会 館	理事 17名 監事 4名	平成24年度決算について 平成25年度予算について 総会提出議案について 定年後再雇用規程等改正について
理 事 会	25. 5. 28	東京都千代田区 「銀行倶楽部」	理事 17名 監事 5名	委員会委員の委嘱について 総会の運営について
第10回定時 社員総会	同 上	同 上	75名 (委任状による 出席45名を含 む)	①平成24年度事業報告承認の件 ②平成24年度決算報告書承認の件 ③平成25年度事業計画決定の件 ④平成25年度収支予算決定の件 ⑤入社基準決定の件 ⑥平成25年度会費及び徴収方法決定の件 ⑦平成25年度加入金決定の件 ⑧平成25年度借入金最高限度決定の件 ⑨常勤理事報酬最高限度決定の件
理 事 会	25. 8. 28	ハム・ソーセージ 会 館	理事 16名 監事 4名	経理状況報告について
理 事 会	25. 10. 22	ハム・ソーセージ 会 館	理事 18名 監事 5名	経理状況報告について
理 事 会	26. 1. 29	東京都千代田区 「銀行倶楽部」	理事 17名 監事 4名	経理状況報告について
理 事 会	26. 3. 26	ハム・ソーセージ 会 館	理事 16名 監事 5名	平成26年度事業計画及び収支予算(案) 平成26年度暫定収支予算書(案) 経理状況報告について
J A S 認定業 務評価委員会	26. 3. 19	ハム・ソーセージ 会 館 他	委員 4名	前回委員会の助言の履行状況 本研究所の審査、認定及び意思決定プ ロセスの公平性について

種 別	期 日	会 場	出席者数	協 議 事 項 等
				公平性のリスク分析の結果に対する評価
登録検査機関 検査業務評価 委員会	同 上	同 上	委員 4名	厚生労働省登録検査機関に係る業務の 信頼性確保について

2. 庶務に関する事項

- (1) 平成25年12月17日、厚生労働省登録検査機関として厚生労働省関東信越厚生局の臨時立入検査を受けるとともに、厚生労働省登録検査機関としての有効期限が平成26年4月18日までであることから平成26年2月14日付で厚生労働大臣に登録更新申請書を提出し、平成26年2月28日関東信越厚生局による立入検査が行われた結果、平成26年3月27日付で平成31年4月18日までの登録更新が認可された。
- (2) J A S 登録認定機関としての有効期限が平成26年3月10日までであったことから、平成25年8月28日付で農林水産大臣に登録更新申請書を提出し、平成26年2月21日及び22日、(独)農林水産消費安全技術センターによる定期及び登録更新のための事業所調査が行われた。

3. 社員に関する事項（平成26年3月31日現在）

期 別	社 員 種 類					総 計
	正 社 員	正社員甲	正社員乙	正社員丙	賛助社員	
前期末現在	78	2	0	0	3	83
今 期 入 社	0	0	0	0	0	0
今 期 退 社	1	0	0	0	0	1
今期末現在	77	2	0	0	3	82

- (注) 正 社 員：(一社)日本食肉加工協会及びその会員
 正社員甲：食肉製品製造を事業とする者
 正社員乙：食肉製品製造を事業の一部として経営する者
 正社員丙：食肉加工を事業とする者
 賛助社員：食肉加工あるいは食肉製品製造の業に関連する事業を行なう者

4. 事業の概要

(1) J A S に関する業務

ア) 平成25年度における J A S 格付状況

区 分	格 付 数 量	対前年度比
ベーコン、ハム、プレスハム、ソーセージ類	114,934 トン	2.2%増
熟成ハム、熟成ソーセージ、熟成ベーコン類	28,706 トン	1.4%増
ハンバーガーパティ	27,145 トン	46%増
チルドハンバーグステーキ	1,632 トン	2%減

チルドミートボール	0トン	—
-----------	-----	---

イ) J A S 認定工場数 (平成26年3月31日現在)

期 別	農林物資 ベーコン類等	熟成ハム類等	ハンバーガー パティ	チルドハンバーグ ステーキ	チルドミート ボール	合 計
平成24年度末	98	60	2	4	0	164
認 定	0	3	1	0	0	4
取 消	1	1	0	0	0	2
平成25年度末	97	62	3	4	0	166

ウ) J A S 認定工場は平成25年度定期確認調査において、すべて適正であった。また、臨時確認調査を1件実施しJAS認定工場としての適正性を確認した。

エ) J A S 証票表示包装等登録印刷工場はベーコン類等116工場、熟成ハム類等73工場、ハンバーガーパティ、チルドハンバーグステーキ及びチルドミートボール29工場、生産情報公表 J A S 1 工場となった。

オ) 品質管理担当者等講習会の開催

区 分	期 日	会 場	受講者数
品質管理担当者講習会	25. 9. 3	南青山会館(東京都港区)	48名
	25. 9. 5	新大阪丸ビル(大阪市)	24名
品質管理責任者等専門講習会	26. 1. 23~24	南青山会館(東京都港区)	71名
格付検査担当者技能研修会	26. 1. 25	ハム・ソーセージ会館	17名

なお、(一社)日本農林規格協会主催の J A S 認定工場品質管理担当者一般講習会には3回開催された。

カ) ベーコン類等及び熟成ハム類等の J A S 規格見直しについて、(一社)日本食肉加工協会設置の品質規格委員会及び専門委員会に出席し、データ収集などに協力するとともに意見を述べた。

キ) (独)農林水産消費安全技術センター設置の「ベーコン類等8品目の日本農林規格の確認等の原案作成委員会」に委員として出席し、J A S 登録認定機関として意見を述べた。

ク) (独)農林水産消費安全技術センター設置の「日本農林規格の見直しに係る妥当性確認調査における妥当性確認調査検討・評価委員会」に委員として出席するとともに、J A S 規格に規定されている水分の分析手法妥当性確認のための共同試験に参加した。

ケ) 平成25年12月改正のチルドハンバーグステーキ及びチルドミートボールの J A S 規格に対応して、(一社)日本ハンバーグ・ハンバーガー協会開催の規格委員会に出席し、意見を述べた。

(2) 一般依頼試験等に関する業務

ア) 平成25年度に実施した一般依頼試験、輸入食品検査の件数は下記の通りである。

区 分	一般依頼試験			輸入食品検査	合 計
	理化学検査	細菌学検査	その他検査		
件 数	6,850件	6,470件	575件	11,394件	25,289件

イ) 各検査項目の精確かつ効率的な検査方法の開発に努めるとともに、内部精度管理、内部点検を実施し信頼性確保に努めた。また、外部精度管理調査については、国内外の機関が行う調査に引続き参加し、検査精度の向上に努めた。

ウ) 国立医薬品食品衛生研究所が実施した「腸炎ビブリオ試験法(定性法)」の共同試験に参加した。

(3) リステリア制御検討委員会について

リステリア制御検討委員会を1回開催し、リステリアの増殖制御に関する追加試験の実施は今後の厚生労働省の動向をみて対応することとなった。参加試験機関である伊藤ハム(株)、日本ハム(株)、プリマハム(株)及び丸大食品(株)の企業4社並びに当研究所で実施した非加熱食肉製品中のリステリア増殖抑制効果に関する共同試験の成果が、3報の共著論文として日本食品科学工学会誌に掲載された。

- ①生ハムにおける水分活性と乳酸ナトリウムによるListeria monocytogenesの制御(日本食品科学工学会誌, 60(7), 347-356, 2013)
- ②生ハムにおけるListeria monocytogenesの増殖に及ぼす水分活性とナイシンの影響(日本食品科学工学会誌, 60(11), 619-627, 2013)
- ③生ハムにおけるListeria monocytogenesの挙動に対する水分活性とくん煙の影響(日本食品科学工学会誌, 61(1), 9-18, 2014)

(4) 平成25年度における研究論文及び学会発表

ア) 研究論文

雑誌名等	表題
Biosci Biotech Biochem, 77(6), 1214-1218, 2013 (日本農芸化学会英文誌)	IMPとピロリン酸塩による豚肉からのミオシンおよびアクチン抽出の増強様式
Environmental Toxicology, first published online July 20, 2013(環境毒物学会英文誌)	内分泌攪乱化学物質DESを投与した成雄ラット精巣Cytchrome P450scc発現抑制によるテストステロン合成阻害
食肉の科学, 54(2), 165-174, 2013	市販非加熱食肉製品の理化学的・微生物学的プロファイル-東京都内における市販品の実態調査から-
Animal Science Journal, first published online January 17, 2014 (日本畜産学会英文誌)	IMPは豚肉加熱ゲルの保水性、物性および官能特性を改善する

イ) 学会発表

学会名	時期等	表題
第27回北海道薬物作用談話会	7月20日 北海道	・合成エストロゲンDiethylstilbestrol投与成ラットにおける肝臓中DES代謝物ならびにステロイドホルモン代謝の雌雄差 ・質量分析計を用いたラット脳内ペプチドならびにカテコールアミン一斉分析法の開発とDiethylstilbestrol投与による影響
第61回質量分析討論会	9月10日 茨城県	・質量分析法によるラット脳内ペプチドならびにカテコールアミンの定量とDiethylstilbestrol投与による下垂体への影響 ・質量分析法による合成エストロゲンDiethylstilbestrol投与成ラットにおける肝臓中DESならびにステロイドホルモン代謝の雌雄差
第86回日本生化学会横浜大会	9月11日 神奈川県	・成雄ラット骨格筋におけるノンシステミックステロイドの合成
第156回日本獣医学会学術集会	9月19日 岐阜県	・成雄ラット骨格筋ならびに肝臓におけるノンシステミックステロイドの合成
日本畜産学会第118回大会	3月28日 茨城県	・塩漬熟成に伴う食肉製品の呈味性発現に関する研究第一報 ・塩漬熟成に伴う食肉製品の呈味性発現に関する研究第二報

(5) (一社)日本食肉加工協会主催の「初級食肉加工技術講習会」、「総合衛生管理製造過程に係る講習会」及び「第30回食品衛生管理者登録講習会」に技術協力した。

(6) その他

ア) 平成25年4月3日～5日の3日間、東京ビッグサイト東4ホールで開催された「2013 食肉産業展」に(一社)日本食肉加工協会、日本ハム・ソーセージ工業協同組合と共同で出展し、JAS規格制度及びJASマークの紹介、当研究所の検査業務の紹介を行った。

イ) 平成26年3月5日～3月7日まで東京都中央卸売市場食肉市場を主会場に開催された「第6回全日本大学対抗ミートジャッジング競技会」に協賛、協力した。

ウ) 平成26年3月29日、茨城県つくば市「筑波大学中地区第3エリア3B棟」において開催された第55回日本食肉研究会総会及び大会に協賛、協力した。

エ) (一社)日本農林規格協会、(一社)食品衛生登録検査機関協会を始めとして、関係団体との連絡、協調に努めた。